

令和5年度学校評価について

学校教育目標「夢や希望をもち 心豊かでたくましい児童の育成」

1 思いやりのある子ども 2 しっかりと勉強する子ども 3 体をきたえ、がんばりのきく子ども

1 評価について

(1) 評価項目

- ①児童へは、生活面、学習面、社会性、自己の内面に関する項目を設定しました。
 ②保護者、教職員へは、学校運営や組織に関する項目を加えて設定しました。
 ③上記の項目について、児童・保護者・教職員の意識がどうなっているのかを比較できる構成としています。
 ※昨年度との比較ができるよう、() に昨年度数値を記載しました。
 ④評価項目の文言は、評価対象者ごとに多少の違いがあります。
 (児童は自分自身のこと、保護者は児童の様子、教職員は児童や保護者に対する働きかけを回答しています。)

(2) 評価区分

- ①すべての対象者に対して、肯定的か否定的かを判断するため、4段階区分となっています。(A…よくあてはまる B…あてはまる C…あまりあてはまらない D全くあてはまらない)
 ②各設問とも、保護者に関しては「わからない」という選択肢を設定しています。
 ※ただし、割合からは除外しています。
 ※児童については、「どちらともいえない」という選択肢をなくし、肯定的か否定的かの判断を行いました。

2 学校評価結果 ※ () は昨年度数値 5point 以上 向上△ 下降▼

No.	項目	評価項目 (学年・クラスを選択) 回答率	児童	保護者	教職員
			91(90)	72(71)	100(100)
1	生活面	学校へ来るのを楽しみにしている。(児童) 学校生活は充実しているためになっていると思いますか。(保護者、教職員)	84(86)	▼82(98)	100(100)
2		周りの人によくあいさつをすることができていると思いますか。	△85(79)	72(72)	△75(68)
3		運動が好きで、体力向上に努めていると思いますか。	▼78(83)	77(78)	△88(72)
4		好き嫌いをしないで規則正しくきちんと食事をしていると思いますか。	△83(78)	70(67)	▼58(68)
5	学習面	進んで学習し、学んだことが身についていると思いますか。	83(82)	▼69(74)	▼83(92)
6		英語(外国語)活動では、楽しく学習に取り組んでいると思いますか。	87(88)	▼75(81)	▼70(76)
7		読書活動やドリルタイム・宿題にきちんと取り組んでいると思いますか。	94(93)	▼59(67)	△91(84)
8	社会性	周りの人のことを考え、友達と仲良く生活できるよう働きかけをしていると思いますか。	96(92)	95(96)	96(100)
9		社会のルールや学校のルールを守っていると思いますか。	90(90)	95(96)	96(100)
10		交通安全に気をつけて登下校していると思いますか。	95(94)	96(95)	△88(80)

11	自己の内面	自分には良いところ、得意なところがあると思っていますか。	77(81)	91(93)	96(100)
12		人の役に立つための行動を進んでしていると思いますか。	△88(81)	91(91)	▼92(100)
13		何事に対しても粘り強く取り組むことができますか。	88(85)	64(65)	100(100)
14	学校運営や組織に関すること	豊かな心を育むために、積極的に道徳教育に取り組んでいますか。	/	90(91)	▼84(96)
15		児童たち一人一人の様子に目を配り、いじめのない仲間づくりに取り組んでいますか。	/	87(91)	96(100)
16		学校は、特別に支援が必要な児童へ、適切に支援を行っていると思いますか。	/	87(91)	▼84(92)
17		学校は、緊急時にどのような対応をするか保護者にわかりやすく説明していると思いますか。	/	90(91)	100(96)
18		学校は、児童の基礎学力の定着を図り、わかりやすい授業を行うよう研修を進めている。	/	92(93)	92(96)
19		学校は、施設・設備の整備を行い、安全な環境を保つ努力をしていると思いますか。	/	95(94)	100(96)
20		学校は、教育活動に保護者や地域の人材を活用していると思いますか。	/	94(92)	88(92)
21		学校は、生徒指導や教育相談、保護者対応等に対し、組織的に対応できていると思いますか。	/	/	▼92(100)
22		学校は、職員共通理解のもと、学校教育目標の具現化に向けて努力していると思いますか。	/	/	△96(88)

3 全体の考察

児童については、肯定的な回答が多い中で、「運動が好きで、体力向上に努めていると思いますか」の評価が5ポイント、「自分には良いところ、得意なところがあると思いますか」の評価が4ポイント下がっています。「周りの人によくあいさつをすることができていると思いますか」「好き嫌いをしないで規則正しくきちんと食事をしていると思いますか」「人の役に立つための行動を進んでしていると思いますか」の評価は5ポイント程度上がっています。

保護者については、「学校生活は充実しているためになっていると思いますか」の評価が-16ポイントと大きく下がっています。また、学習面についての項目が軒並み5ポイント以上下がっており、特に、読書活動や宿題への取組への評価が低い傾向にあります。また、いじめのない仲間づくりや、特別に支援が必要な児童への適切な支援への評価が4ポイント下がっています。

教職員については、児童同様に「あいさつに関する評価」が上がっています。また「体力向上に努めているかの評価」について16ポイント上がっています。また「読書活動や宿題への取組」への評価が7ポイント向上しています。さらに「交通安全に気をつけて登下校していると思いますか」の評価について8ポイント向上しています。そして、「職員共通理解のもと、学校教育目標の具現化に向けて努力していると思いますか」への評価は8ポイント向上しています。

4 各項目の考察

(1) 生活面

「学校へ来るのを楽しみにしていると思いますか。」(児童)「学校生活は充実しているためになっていると思いますか。」(保護者、教職員)この設問に関しては、肯定的な回答が教職員100%、保護者82%、児童84%となっています。児童に関しては、学年による差も大きく、アンケートを取ったときの気持ちが大きく係わる学年、学級も感じるように感じます。今後、児童に関して、こういったことが否定につながっているか、学級・学

年ごとにより児童の実態を把握して改善していきます。あいさつについて児童と教職員の評価が上がっており、日頃の登下校時の見守りボランティアの方々とのあいさつや、企画委員会主催のあいさつ運動などによる効果が出ていると考えられます。

運動に関する回答は児童の評価が下がっているのに対し、教職員の評価は上がっています。新型コロナウイルス感染症蔓延防止の取組が影響していると考えられますが、もっと運動したいという児童の欲求をかなえるために、休み時間の外遊び等を充実させていく必要があると考えます。3学期は「大谷選手寄贈グローブ」によるキャッチボール体験会や縄跳び検定などの取組を通じて、外遊びをする児童が増えました。

食事に関する回答では、児童は「好き嫌いのをしない規則正しい生活への評価」が上がっていますが、教職員は評価が大きく下がっています。給食の残食量が大きく減っていることから、児童の「残さず食べるという意識」、「一口でも口をつけてみようという意識」は高まっていると考えられます。ただし、アレルギーや体質等により食べられないものがある児童への配慮や対応を同時に行っていく難しさがあり、それが教職員の評価の低下につながっていると考えられます。

(2) 学習面

「進んで学習し、学んだことが身についていると思いますか。」に関しては、教職員の評価が昨年度よりも下がっていますが、学年差があります。保護者の評価も69%と昨年度よりも下がっています。自主的な学習が進められていないと考える児童が一定数存在しています。引き続き授業の充実を図ると共に、ICTを有効活用し、児童が面白いと思えるよう努力していきます。

「英語(外国語)活動では、楽しく学習に取り組んでいますか。」に関しては、児童の肯定感が高いのに対して、保護者、教職員が低い評価になっています。聞く、話すだけではなく、アルファベットで書く学習内容があり、教科化されたことも影響していると考えられます。研修を進め、児童の実態に合った指導を行い、より充実した授業を行っていきます。

「読書活動やドリルタイム・宿題にきちんと取り組んでいますか。」に関しては、児童教職員の評価が高く、保護者が低い状況でした。学校での取組を保護者に伝える工夫をすると共に、家庭での児童の様子を把握し、改善していきたいと考えます。また、タブレットの活用にもさらに力を入れていきます。

(3) 社会性

これらの設問に関しては、三者とも概ね高い評価でした。登下校及び、帰宅後の自転車の乗り方等の指導に関して、今後とも継続して適切な指導を行っていききたいと考えます。

(4) 自己の内面

児童の評価は、(自己肯定感)に関しては、昨年度よりも評価が下がっており、基準の85%を越えるまでにはなっていません。今後とも「やればできる」を合い言葉に、意欲的に挑戦する活動を増やし、振り返りで成長を実感させたり、教職員からの賞賛の機会を増やしたりすることで、学校生活の様々な場面で、子どもたちの意識が伸長するよう指導支援していきたいと考えます。

また、(粘り強さ)に関しては、児童、教職員が肯定的であるものの、保護者は否定的(36%)であり、解離がもっとも大きくなっています。これは、期待が大きいことと、家庭での行動が起因すると考えられます。学校では、今後とも、「自己の内面」をしっかりと見つめ、社会で活躍すべく「人格の形成」を目指して教育活動を展開していきます。

(5) 学校運営や組織に関すること

この設問は、保護者、教職員に対して行ったもので、その全てが肯定的な回答でした。学校運営全般に関して「良好な状態」であると考えられます。その中で保護者がわからないとの回答が多かったものは、「特別に支援の必要な児童へ、適切に支援を行っていると思いますか。」でした。本校の特別支援教育への取組を定期的に紹介するなど、保護者にも広く伝えていきます。今後とも本校の取組を保護者、地域に知っていただき、協働した学校運営を行っていききたいと考えます。

5 保護者からの意見・要望等（抜粋）

◆運動会について

- ・今年のような運動会のやり方はとても良いと思います。授業参観ですが、体育の授業も見てみたいと個人的には思います。
- ・運動会のダンスの時は、全員円になって外側を向いてやって欲しい。整列スタイルだと自分の子が見つけられなかったり、写真も採れません。あと、児童席にはテントを設置して欲しいです。近年は暑すぎて子ども達が可哀想です。
- ・運動会は校庭が狭いため、二学年制でやることはとても良いと思いました。
- ・運動会の応援団の場所をかえてほしい。真後ろで長い間大声を出されるので、耳が痛かったようです。
- ・1～4年生は自分達の出番以外は座り続けなければならないので、体への負担が大きいと感じました。全員が運動会中、運動場で過ごす必要があるのでしょうか？
- ・運動会は今回のような見学内容でよかったと思います。
- ・運動会は今年のような形が望ましいのではと思います。全学年が一緒になると狭すぎてよく見えなくなるし、自分の子以外の学年を見たいと思わない人もいますので。お弁当なしも母には助かります。
- ・運動会の2学年制は続けてほしいです。
- ・今年の運動会は、全学年でできて子供達も喜んでいました

◆PTAについて

- ・バザーは来年やるのでしょうか？準備がとにかく大変だと聞くので、時代に合わせてこのままやらなくていいと思います。
- ・PTA や役員は外部委託するなどしてほしいです。仕事をしながらの役員は大変で完璧には出来ないなので、専門機関にお任せする方がもっと良くなると思います。
- ・今の時代、皆忙しいので、PTA 役員をなくして欲しい。PTA のバレー&ソフトボールバザーは廃止して欲しい。特にバレー等は、役員がお弁当の手配をするというのはおかしいです。PTA 会費は児童の為だけに使って欲しい。御昼は各自で持ってくれば良いし反省会費って何ですか？物価高で、給食の内容も今一なのだから、バレー等に思わずに、全額子供達の為に使うべきだと思います。弁当手配や知らない保護者の応援などの意味不明な役員の仕事は時代遅れですよ。
- ・また PTA も大変だとは思いますが、任意であると思うのですが、強制加入なののでしょうか？共働きや片親も多い中 PTA も大切だと思いますが子供との時間も大切にしたいです。PTA 廃止などニュースでみかけますが本校はその様な話はないのでしょうか？
- ・バザーはこれからも永遠に中止にしてほしいです。バザー委員の仕事のために、パートを休むくらいなら PTA 会費を値上げしてもらった方が余程いいので。
- ・PTA はいらないと思う。平日に活動できるのは専業主婦だけでは？また、PTA のバレーボールなどの保護者の活動は、やりたい人で個人的に行ってほしい。PTA の活動費で行うのは不平等。
- ・PTA の有無、保護者の負担(精神面なども含め)など見直しを。

◆学習指導について

- ・教材が分かりづらいと感じる時があります。
- ・毎日宿題があるのが負担に感じてます
- ・情報リテラシー（特に SNS でのコミュニケーションマナー）について、時間を設けてほしい
- ・消防団を招いての授業は市内でも 2 校だけと聞きました。これからもこの活動があるとうれしいです。
- ・自学は良い取り組みだと思いました。続かなくて、残念におもいました。
- ・救急の講習会が再開されてよかったです
- ・高学年の英語教師もネイティブスピーカーにしていきたいです。(特にスピーキングの際)。R と L の発音など、間違いが目立つとよく耳にします。

◆学校運営について

- ・コロナだから仕方ないのかもしれませんが学校の様子を見る機会が少なすぎる様に感じます。フランクにいつでも見に来て下さい、くらいオープンな取り組みを期待します。

- ・参観日を増やして欲しい。保護者会を実施して欲しい。
- ・トイレ掃除は子供達にさせるのではなく、専門業者に委託してほしい。
- ・学校行事は、アウトソーシングしていいと思います。先生が運営するのは限界があるのではないかと思います。
- ・いつもよく見てくださり、ありがとうございます。陸上や合唱の朝練、行事が充実してきて、さらに学校生活を楽しく過ごせているようです。今後も、ご指導よろしく願いいたします。
- ・2学期も希望制でいいので個人面談を実施して欲しいです。
- ・2学期に行事が集中して忙しいので、校外学習を1学期にするなどして頂きたいです。
- ・文化祭みたいなことをみんなでやりたい子供が申し出ておりました。先生の働き方改革で、難しいことも承知しておりますので、諦めています（バザー、よつわっこチャレンジなどなくなりましたので）
- ・市の政策、学校や授業の運営方針に子供達が関わった実感、周りの大人に支えられているという実感を持てるような関わりがあるとよいと思います。地域や家庭でも気をつけて関わります。
- ・合唱部のご指導ありがとうございました。おかげさまで、積極性が身についたと思います。
- ・トイレ掃除は子供達にさせるのではなく、専門業者に委託してほしい。
- ・2学期にイベントが集中していて、高学年が落ちつかない。
- ◆周知方法・メール配信・ホームページについて
- ・プリントのPDF送付だけでなく、日程変更があった時や短縮日課や変則日程の前日などに、もう少しマチコミのメール機能を活用して頂ければ助かります。
- ・学校のHPをもっと活用して、子供達の様子や何をやっているか写真付きで定期的に載せほしいです。
- ・また、以前のようにホームページに今日はこういうことをした。みたいな一言でいいのでアップしてほしいです。また、給食の写真もアップしてほしいです。
- ・インフルエンザ、コロナなどの情報を、一週間に一度など配信していただくと有り難く思います。
- ◆要望・苦情
- ・登校する時間に車で通学路を通る先生がいるのが気になります。子供達が通っている時にすれ違いで詰まるところをよく見ます。その横を子供が通るのを見た時はいい気持ちではありません。出勤時間があるのは分かりますが、もう少し配慮はできないものではないでしょうか。
- ・先生達は何でいつも上から目線できつい言い方で生徒に接しているのでしょうか？それから、アイサツをしない先生が多いです。真横を通っているのに無視です。挨拶は基本ですよ。
- ・他人にされて嫌な事を自分がしない、思いやりの指導を強化してほしい。
- ・差別なく教育をしていただきたいと思ひます。子供達の中の情報は親にも降りてきているので。
- ・日頃より大変お世話になっております。最近、子どもから聞く先生方の言動等が気になります。フード付きの洋服を着ている子を先生が怒った時にフードを引っ張っていたと聞きました。悪い事をしたならば怒られる事は仕方のない事だと思ひますが、フードを引っ張る行為は間違っていないですか？それから言葉使いも…私達保護者は、先生方に大切な息子、娘の命を預けているんです！どうか間違った指導の仕方はやめて頂きたいです。勘違いなさらないでほしいのは、怒らないで！とお願いしているわけではなく、間違った事をしたり友達や先生方を傷付けたりした時はきちんと指導して頂きたいのですが、その指導の仕方を今一度考え直してほしいと思ひています。お忙しいとは思ひますが何卒宜しくお願ひ申し上げます
- ・学校の校門前に車が停まっていることが多く、とても危ない。対策が不十分。
- ・いつもありがとうございます。感謝しかありません。アンケート結果を見たいです。我が子は進んで読書をしています、学校の宿題をやるのを忘れてしまいます。家庭教育の支えが不足して申し訳かない気持ちです。先生方いつもありがとうございます。

そして、先生という職業はとても素敵です。1人の人として子ども達が大切な人生を歩んでいる事に対して思いっきり関わって頂きたいと思います。どうぞこれからもよろしくをお願いします。

- ・児童に言動を含め当たりの強い先生などの見直しを。
- ・いつも子どもたちのためにご尽力下さり大変感謝しております。読み聞かせで時々お邪魔させていただきますが、皆さん元気よく挨拶してくださり、学校の雰囲気も良く、親として安心しています。

◆ルール・きまりについて

- ・子供から、「低学年は、体育の着替えを男女同じ教室でしている。」と聞きました。低学年であっても本当は恥ずかしいと思っている子もいるそうです。出来れば一年生から男女別が望ましいと思います。ご検討よろしくをお願いします。
- ・いつも楽しく通わせていただいています。交通安全にも力を入れていただき、安心して通わせられます。自転車のヘルメット着用についても徹底するよう引き続きご指導をお願いします。

◆ボランティア活動等について

- ・登下校に見守りボランティアの方がいて下さり、とてもありがたく感じております。

6 学校評議員からの意見・要望等

- ・あいさつは声をかけるとよく返ってくる。「知らない人には声をかけないように」と指導していることも関係していると思うので、大人が日頃から積極的にあいさつをしてあげることが大事なのではないだろうか。
- ・アレルギー対応で、食事に関する指導が難しくなっていると感じる。保護者が食べられないものは食べなくてもいいと考えている。子供が食べないものは家庭では料理として出ない傾向にあり、学校給食で初めて口にする物や、食べられるようになる物もあると思うので、食育は大切な物だと考える。
- ・食事の時間は十分に確保できているだろうか。
- ・英語専科やALT（アシスタント・ラングウェッジ・ティーチャー）によって、言い方（方言）や発音が違ってくる。発音が美しく正しい方が教えてくれると良いが…
- ・自転車はヘルメットをかぶっている児童の姿はあまり観ない。学校でも家庭でも周知していくことが必要なのではないか。
- ・自己肯定感が低いという聞こえが悪いが、謙遜する子ども、おくゆかしい子どもが多いと考えれば良いのではないか。質問に対しては自己評価が低い子どもも良い表情をしている子どもが多いので、気にしすぎることはないのではないだろうか。
- ・日頃から、自己紹介のような形で、自分のよいところを発表し合うと良いのではないだろうか。
- ・中学校で困っていることは小学校へ、小学校で困っていることは幼稚園・保育園へ下ろしてほしい。それぞれの立場でできることもあるはずである。
- ・授業参観も学期を終える毎に、落ち着いていると感じた。
- ・6年生のマスク着用者が多く感じた。高学年ほど着用率が高いのではないか。素顔を出したくないと考えている子どもがいないか気になる。
- ・タブレットはいろいろな使い方があることがわかり、子どもたちも理解が早いと感じた。
- ・曲に合わせて手話を練習している授業を観て、素晴らしい授業だと思った。